

侍魂—サムライソウル—

作：音里^{おんり}

シナリオ・データ

推奨プレイヤー人数：4人
PCレベル：5
リミット：2サイクル

セッション予告

サムライの魂は、たとえ散華したとしても消えることを知らず。正義の心も又、然り。剣は心(ここ)にあり。想いと等しく。そして魂は継承される。誰かから誰かへと。故に、正義は在り続けるのだ。

因縁深き牛魔王(ぎゅうまおう)の襲撃予告に、激震する綾代(あやしろ)市。その地に現れる謎のヒーロー、サムライマスクとは何者か……？

サムライブレイドTRPG

「侍魂—サムライソウル—

サムライの魂は、ただ消ゆることを知らず。

PCの設定

・サンプルキャラクター

PCにはハンドアウトと設定がつく。

セッション開始前にハンドアウトを公開し、どのようなPCにするかをプレイヤーと相談する。

PC1：兄の志を継いで魂魄士になった。

「怒ろの旋棍士※」

PC2：謎のサムライマスクを追う。

「電脳でん脳の式使い※」

PC3：“羅刹”牛魔王の対処を任される。

「華札の巫女」

PC4：片岡和樹と共に綾代支部へ派遣

される。

「退魔士官」

※どちらもSAMURA | レポート掲載のサンプルキャラクターである。「サムライブレイドTRPG」に慣れていないプレイヤーが使用する場合、それぞれ「摩天楼の若武者」「陰陽の行使者」へ変更しても構わない。

舞台・綾代市について

このシナリオの舞台である綾代(あやしろ)市は架空の都市である。海や山が近くにある自然豊かな面と、古くから栄えた街並みが残る文化的な面が両立した都市となっている。

GMは綾代市の所在地について自由に設定して構わない。

思いつかない場合は静岡県の三島市や沼津市などをモチーフにするといだろう。

背景

(※PLは読まないように)

数年前、今回のシナリオの舞台である綾代市で逢魔である“羅刹”牛魔王の襲撃があった。

その際にPC1の兄である沢村ムサシは自らの魂魄士としての生命を賭し(魂魄散華し)、牛魔王を追い払った。その後、彼は自らが人々を守る力を失ってしまったことを悔い、特訓の旅へと出た。

数年後、“羅刹”牛魔王は再び力を取り戻し、綾代市への宣戦布告を行う。

SAMURA | 綾代支部に所属するPC1、2は牛魔王を討伐するべく討伐作戦のメンバーとして、PC3は作戦の指揮官として招集された。

PC1は兄の敵であり、綾代市に危機を及ぼす牛魔王を倒すべく戦いへと参加する。

また、作戦のサポートを行う存在としてPC4と片岡和樹が派遣されてくる。

宣戦布告の届く数週間前より、“サムライマスク”と名乗る謎の魂魄士が綾代市に現れ始める。

この“サムライマスク”の正体は力を失った後に特訓を終えて帰ったムサシその人である。

PC2は綾代市および討伐作戦にどのような影響を及ぼすともしれぬ謎の存在であるサムライマスクの調査を作戦の裏で行う。

今回のシナリオではムサシとの再会・力の継承を経て、PC達が“羅刹”牛魔王を撃破すればシナリオは終了である。

プロローグフェイス

プロローグフェイスは各PCの導入を執り行う。

華札の配布(5枚ずつ)と初期アイテムの決定を行ったらプロローグフェイスを開始する。PC間の「縁」は、結ぶのが難しいと感じたらプロローグフェイス終了時に結んでも構わない。

シーン1 昔の思い出

シーンプレイヤー：PC1

解説

PC1以外登場不可。

PC1とムサシとの思い出を描写した後、現在魂魄士としての活動をしている描写を行う。最終的に現在所属しているSAMURA | 綾代支部からの呼び出しを受ける。

▼描写1

場所は家から少し離れた広い野原を想定している。(PC側に場所や演出の希望があればそれに準ずること)

幼い頃、あなたとムサシは2人で剣の稽古をしていた。魂魄士であるムサシに、剣の振り方を教えてもらうことは、貴重な機会であった。

▼セリフ：沢村ムサシ

「ようし、今日はここまでだな。お前も強くなったな、PC1」

「昔と比べて一振りが力強くなっているのが感じられるよ」

「お前が何の為に剣を振りたいのかは、俺も教えてやる事ができない。だから、戦う時は、しっかりお前なりの理由を考えるんだぞ！」

「ああ、そうだ。今度、また新たな戦いに出ることになったんだ。綾代の街を守るために、悪い逢魔をやっつけてくるんだ」

「もしも俺が帰ってこなかったときは、お前が綾代の町を、綾代の人たちを守ってくれよな」

▼描写2

それから数年が経った。彼はあの後に参加した逢魔の討伐作戦で、人々を守るために建物の崩落に巻き込まれ、そのまま行方不明になってしまった。

しかしあなたは心のどこかで、彼は帰ってくる、いつか再び会える信じて、彼の志を継ぎ魂魄士としての日々を過ごしていた。

そんなある日、君にSAMURA | 綾代支部から連絡が届く。

「PC1さんですか？ 支部長から緊急の作戦連絡があります。取り急ぎ、支部まで来ていただけませんか？」

結末

PC1が綾代支部へと向かったところでシーンを終了する。

シーン 2

サムライマスクの噂

シーンプレイヤー：PC 2

解説

PC 2 以外登場不可。

PC 2 が綾代支部の魂魄士たちがサムライマスクの噂をしているのを耳にするシーン。

もし PC 2 が魂魄士に直接話を聞くのであれば、「正体の分からない謎の魂魄士」「SAMURA I に所属しているわけではなく、綾代支部でもその正体について調査中」ということを話す。

▼描写

SAMURA I 綾代支部。あなたは今日も任務を終え、支部に戻ってきたところだった。あなたが報告に向かっていた途中、こんな話を聞く。

▼セリフ：綾代支部の魂魄士

- A 「なあ、知ってるか？
覆面姿の魂魄士のこと」
- B 「あー、噂には聞いたことあるなあ。
最近町の人たちの間で都市伝説みたい
に話題になってる」
- A 「なんでも戦隊もののヒーローみたいな
覆面姿で、逢魔に襲われてる街の人
たちを助けてるらしい」
- B 「で、誰なんだよ、その正体は」
- A 「それがさあ、
分かんねえらしいんだよなあ。
綾代支部でも調べているらしいん
だけど、誰だかさっぱりだとさ」
- B 「はあ、一体何者なんだろうなあ」

結末

PC 2 がサムライマスクの噂を聞いたうえで、サムライマスクについて調査をしようと思ったところでシーンを終了する。

シーン 3 宣戦布告

シーンプレイヤー：PC 3

解説

PC 3 以外登場不可。

綾代支部支部長に呼び出しを受け、そこで支部に届いた“羅刹”牛魔王からの宣戦布告を受けたことを伝えられる。

▼描写 1

綾代支部支部長室。皮張りのソファーに神妙な面持ちを浮かべて支部長は腰かけている。

あなたが入ってくると、支部長は話し始める。

▼セリフ：綾代支部 支部長

「よく来てくれたね、PC 3 君（さん）」
「君を呼び出した理由としてはね、とある逢魔の討伐作戦に参加してほしい。詳しくはこれを見てくれ」

▼描写 2

というと、彼は一つ巻物を取り出す。それを開くと、映像のようなものが浮かび上がる。

それは、牛を彷彿とさせる姿をした、映像越しにさえ迫力を感じる逢魔の姿であった。

▼セリフ：牛魔王

「我が名は羅刹、民草を薙ぎ払い我が城を築く者なり。名は牛魔王という」
「次の新月の夜、この綾代の地に存在する SAMURA I 支部を破壊しに参る」
（次の新月の夜は、一週間後であるという事は分かっているよ）
「かつて我の身体を傷つけた恨み、民草の叫び声と命でチャラとしようではないか」

結末

綾代支部長から“羅刹”牛魔王討伐命令を受けたところでシーンを終了する。

シーン 4 和樹からの頼み

シーンプレイヤー：PC 4

解説

PC 4 以外登場不可。

“リーダー”片岡和樹（ルールブック P179）から SAMURA I 綾代支部防衛作戦に共に参加してくれないかと依頼されるシーン。

▼描写

ここは SAMURA I 本部のとある打ち合わせ室。君は友人である片岡和樹に呼び出されてやって来た。

部屋に入ると、いつもより少しラフな服装をした和樹が一人で待っている。

▼セリフ：片岡和樹

「やあ。PC 4 じゃないか。元気そうで何よりだ」
「私的な呼び出しにも関わらず、場所は SAMURA I の会議室ですまないな」
「今回お前を呼び出したのはほかでもない。少し、頼みがあってな」
「今度、自分の率いるチームが綾代支部の防衛作戦に参加することとなった」
「しかし、チームに決定打が不足していてな。……そこでだ。お前に俺と一緒に戦ってほしいんだ」
「お前となら何度か戦ったことがあるから、連携を取るのも容易いな。……どうだ？」

結末

片岡和樹からの依頼を承諾したところでシーンを終了する。

シーン5 作戦会議

シーンプレイヤー：PC 3

解説

PC全員登場。集合シーン。

綾代支部の会議室で、綾代支部支部長から防衛作戦の概要に関して話をされる。

PC 2は幕間で今回の作戦に関して声をかけられていたということで登場してもらう。

▼描写

SAMURA | 綾代支部会議室。

今回の防衛作戦の作戦会議のために、参加者となったPC達と片岡和樹が呼び出されている。

▼セリフ：綾代支部 支部長

「皆さん、よくぞ集まっていただきました」「今回の作戦に綾代支部から参加して頂くのはPC 1君（さん）とPC 2君（さん）、PC 3君（さん）です」

「また、こちらの片岡さんとPC 4さんには、SAMURA | 本部より援軍として来ていただきました」

「今回の作戦には、この5名で主に指揮を執っていただきます」

「まず、“羅刹”牛魔王ですが数年前に綾代支部で討伐作戦を行いました……その時に失敗して、逃がしてしまいました」

「その折に、PC 1君（さん）の兄であるムサシさんを中心とした何名かの魂魄士が犠牲となりました」

「……また、ここ最近牛魔王の手先である下級逢魔が何体か現れているのですが、その折にサムライマスクと名乗る謎の存在が現れて逢魔と交戦を行っているとの情報を得ています」

「もし魂魄士なのであれば、今回の作戦に協力を要請したい。なにせ、人が足りませんので」

「そうでなくとも、SAMURA | としては素性の知らない人間——しかも逢魔と戦うような人物を野放しにしておくわけにはいかない」

「なので、主にPC 2君（さん）にはサムライマスクの正体の調査についてもお願いしたい」

「すみませんが、よろしくお願ひいたします」

結末

支部長からの話とPC間での交流にひと段落がついたところでシーンを終了する。

メインフェイス

プロローグフェイスが終了した時点で、結んでいなければPC間の【縁】を結ぶ。

GMはすべての「初期断片」を公開する。また「行為判定でスペシャルを出す」と追加サイクルが発生する」「追加サイクルでは華札の補充ができない」「追加サイクルでは感情判定、入手判定などを行うのが望ましい」ことを説明すること。

リミット

メインフェイスのリミットは2サイクルである。リミット以内に【剣戟】を開示できなかった場合、クライマックスフェイズでサムライマスクが玉砕覚悟で牛魔王に挑むことになる。

【剣戟】が開示されていれば、サムライマスクである沢村ムサシと分かり合えて、彼が命を散らすことはなくなるだろう。

イベント

初期断片「サムライマスクについて」が開示されるとマスターシーンとして「シーン6」が挿入される。

挿話「片岡和樹の支援」が開示されるとマスターシーンとして「シーン7」が挿入される。

追加断片「サムライマスクの正体」の開示後、サムライマスクを説得するシーンをを行うと「シーン8」が発生する。

シーン6

サムライマスク、登場

マスターシーン

解説

初期断片「サムライマスクについて」を調べた時点でシーンが発生する。

PC 2は登場必須。他PCは任意登場。サムライマスクが街に現れ、人々を救っていくところを目にする。

サムライマスクの持つ刀が不完全に思える理由は、彼が既に散華しており魂魄士でないために刀の力を発揮できていないからだ。

▼描写1

PC 2を中心にサムライマスクについて調査を行っていたその道すがら。

突如、あなたたちは悲鳴を耳にする。そちらの方に駆けていくと、“羅刹”牛魔王の手先である逢魔に人々が襲われていた。

逢魔が刀を振った刹那、ガキンとその刃を受け止める硬質な音が響く。

見ると襲われていた人々と逢魔の間に、覆面姿の一人の人物が立っていた。

▼セリフ：サムライマスク

「——民草を刻もうとするその悪しき魂、許すわけにはいかぬ」

「我が名は正義の戦士サムライマスク！人々を守るために戦う侍なり！」

▼描写2

サムライマスクが刀を振るうと、逢魔の身体は二つに切り裂かれる。

しかし魂魄士であるあなた達は、彼の持つ刀がなんとなく不完全であるように感じる。

また、もしPC 1がこのシーンに登場している場合彼の持つ刀にどこことなく見覚えを感じる。

サムライマスクに声をかけても良いが、彼は逃げるように去っていく。

もしPC 1がいるのであれば、去り際のサムライマスクと一瞬目が合ったような気がした。

▼セリフ：サムライマスク

「悪は去った。——それでは私はこれで失礼！」

結末

サムライマスクが去って行ったところでシーンを終了する。

シーン7 リーダーの支援

マスターシーン

解説

挿話「片岡和樹の支援」を調べた時点でシーンが発生する。PC4は登場必須。他PCは任意。

片岡和樹と作戦会議をして、支援物資の到着を伝えられる。【乗物】【霊則】【兵器】のいずれか1つ獲得することができる。この時点で【霊則】が無ければ、GMは優先的に【霊則】を渡すように誘導すること。

また、彼の支援と激励によって【GS 高揚】も受けられる。

▼描写

SAMURAI 綾代支部作戦本部を君が訪ねると、片岡和樹が書類をまとめているところだった。

▼セリフ：片岡和樹

「やあ。スペースを食ってしまっていてすまないな」

「……これか？ SAMURAI 本部に要請して送ってもらったものだ」

「今回の作戦では自分たちは主に後方の支部防衛を担当する」

「だから後ろのことは気にしないでいい。君たちは牛魔王を叩き切ることだけ、考えてくれ」

「ああ、そうだ。SAMURAI から送られてきた物にこんなものがあった。よければ使ってくれ」

「あとは君たちが切り込んですぐに、一時的に俺が力を貸しに行く」

「君たちの活躍には期待している。……頑張ってくれ」

結末

片岡和樹からアイテムを受け取ったところでシーンを終了する。

シーン8 継承

シーンプレイヤー：PC1

解説

追加断片「サムライマスクの正体について」を調べたうえで、PC1がサムライマスクもといムサシに会いに行くと言言するとシーンが発生する。

このシーンは手番を消費せずに行うことができる。

▼描写

場所はPC1とムサシがかつて2人で稽古をしていた河原。

あなたがそこを訪れると、彼は一人で愛刀「炎獄」の素振りを行っていた。

あなたが来たことに気づくと、彼は素振りを止め、PC1の方を見る。

▼セリフ：沢村ムサシ

「……久しぶりだな」

「やはり、サムライマスクの正体はばれていたか。まあこの刀を見ればばれてしまうか」

「散華してからも俺は己の肉体を、剣の腕を鍛えなんとか下級逢魔を倒すまでは得た」

「……しかし、それでは本当にすべての人を助けることはできない」

「お前がもし、誰かを守るために戦うというのであれば、この炎獄を持って行け」

「俺の心で尽きぬ正義の炎が如く、こいつは燃え続けて、お前に力を貸すだろう」

「……さあ、行け。たとえ魂魄士としての花が散ろうとも、俺の中の正義の炎は消えない。だから、どこかで、力を貸そう——」

結末

炎獄を受け取り、河原を立ち去ったところでシーンを終了する。

カルマフェイス

カルマフェイスでは【斬札展開】を行ったPCがシーンプレイヤーとなり【土命】を追加できる。GMは全PCが【斬札展開】できるように案内すること。

「カルマフェイスシーン表」を用いてシーンの雰囲気を出して「PCが何のために戦うのか」を確認する。

PC1が炎獄を引き継いだ場合でも、武霊刀の化身はPC1が初期に設定したものを想定しているが、もしも兄の武霊刀に宿る化身と対話したい場合、彼の武霊刀の化身はムサシの姿をとって現れ、PC1に戦いの意味を問う。

クライマックスフェイス

シーン9

決戦の日、来たる。

バトルシーン

解説

“羅刹”牛魔王との対決シーンである。あらかじめ断片が開示されていれば沢村ムサシの協力と片岡和樹の支援を得ることができているはずだ。

▼描写1

襲撃の日の綾代支部周辺から少し離れた地区にあなたたちはいる。

あなた達は今回の作戦では、牛魔王たちの進路で待ち伏せをし、敵を迎え撃つという作戦だ。

ムサシと和樹から通信が入る。

▼セリフ：沢村ムサシ・片岡和樹

ムサシ「PC1、そしてお前の仲間たちに任せた。俺は、俺としての戦いをする——！」

片岡「支援と防衛は自分たちに任せておけ。お前たちは本丸を頼んだ！」

▼描写2

“羅刹”牛魔王率いる逢魔の群がやって来る。

そこに片岡和樹の号令と共に、妖術使いや符術使いの炎が放たれ、牛魔王の見えないところに仕掛けられていた「綾代之樹」の仕掛けが燃え上がる。

その炎は牛魔王の脚を包み込んだ。

▼セリフ：“羅刹”牛魔王

「ブワッハッハ！ 貴様たち、そこで待ち伏せをしているのはばれているぞ！」

「——な、なんだ！ この炎は！ まさか、聖なる炎か！？ 我は炎が大の苦手なのだ！！」

「……く、よくも我が足を使い物にならないようにしてくれたな。許さぬ」

「この報い、身を以て知れ！！」

（覚醒時）「……まさか、我の真の力を披露することになるとはな！ 後悔するがよい！」

（覚醒後、生命力が0になった際）「ま、まさか、この我が！ 小童ごときに——！

ガァァァッ！！」

戦闘について

(データはルールブック参照)

- 上級逢魔
- 牛魔王
- 中級逢魔
- 亡霊武者 黄泉戦
- 下級逢魔
- 二爪 三首

牛魔王の持つ逢魔アビリティは以下の通りである。

- 上位
- 真魔覚醒 殺戮の嵐
- 地獄の業火 忌むべき再動
- 下位
- 刹那の瞬撃 破滅の魔剣 絶望の切り札

1 サイクル目に牛魔王は【刹那の瞬撃】を使用して即座に攻撃手番を獲得。

【殺戮の嵐】を使用して攻撃を行う事。PC 2人以上に命中した場合は【破滅の魔剣】を使用する。

以降は間合い内のPCに攻撃を行っていくこと。

勝利条件

バトルシーンの勝利条件は「“羅刹”牛魔王の撃破」である。なお、このバトルシーンにはリミットは存在しない。

結末

“羅刹”牛魔王を撃破すると、他の逢魔たちは統率を失い逃走していく。討伐は難しくはないだろう。

支部から帰還命令が入り、PC達には支部へと戻ってもらう。というところでシーンを終了する。

エピソードフェイス

エピソードについてはセッション毎に変わるものだと想定しているので、描写やセリフは記さない。

以下のようなシーンを想定しているが、PCが希望するように演出をすること。

- PC 1 ムサシとのその後の生活の様子
- PC 2 サムライマスクに関して報告書をまとめる
- PC 3 牛魔王討伐成功のお礼を伝えられる
- PC 4 片岡和樹にお礼を言われる

功績点について

本シナリオにおいてのボーナスは特に指定していない。

エネミーデータ

牛魔王	種別	難易度	移動攻撃	全力攻撃
	上級	+10	《異形/練達3》 ダメージ6点	《異形/練達3》 ダメージ7点
攻撃役	生命力	25	間合	出現ポイント
			1	五・四/四・三
特殊能力1：二回行動 出現ポイント2つにコマを配置。各手番で行動する。 特殊能力2：配下召喚 サイクルスタートに増援として、下級逢魔2体がランダムで登場する。 特殊能力3：猛牛無双 対象をライン内にいる任意の対象とする。間合0～2 対象：ライン 回数：サイクル				

牛魔王 (覚醒後)	種別	難易度	移動攻撃	全力攻撃
	特級	+15	《異形/練達3》 ダメージ6点	《異形/練達3》 ダメージ7点
攻撃役	生命力	50	間合	出現ポイント
			1	六・6を追加
特殊能力1：三回行動 出現ポイント3つにコマを配置。各手番で行動する。 特殊能力2：配下召喚 サイクルスタートに増援として、下級逢魔2体がランダムで登場する。 特殊能力3：猛牛無双 対象をライン内にいる任意の対象とする。間合0～2 対象：ライン 回数：サイクル				

敵の配置

	6	5	4	3	2	1	X
六							
五			牛魔				
四		戦		牛魔三首			
三							
二					二爪亡霊		
一							
零							

※牛魔…牛魔王 戦…黄泉戦 亡霊…亡霊武者

ハンドアウト



士命

ハンドアウトPC 1

沢村ムサシの正義を継ぐ

推奨魂魄・職業 推奨サンプルキャラクター
応龍・任意 怒号の旋棍士

君は若き魂士である。

君には、沢村ムサシという兄がいる。彼はSAMURAIに所属する才能のある魂士であったが、数年前の逢魔討伐事件の際に行方不明となってしまった。

君はそんな兄の正義の志を継いで魂士となった。そうすれば、いつか兄と再び会えると思っているから。

縁 さむらい：沢村ムサシ

感情：憧憬

特記事項：22歳以下である

ハンドアウト



士命

ハンドアウトPC 2

サムライマスクの正体を暴く

推奨魂魄・職業 推奨サンプルキャラクター
鳳凰・任意 電脳の式使い

君は綾代市を中心として活動する魂士だ。

最近、綾代市の魂士の間で「サムライマスク」と名乗る謎の覆面姿の魂士の存在が話題となっている。そうやら逢魔に繋がれていることを彼に助けられた、という人々がいるそうだ。

いったいどんな奴なのか、関心を持った君は、彼の調査に乗り出した。

縁：サムライマスク

感情：興味

特記事項：特になし

ハンドアウト



士命

ハンドアウトPC 3

牛魔王を退治する

推奨魂魄・職業 推奨サンプルキャラクター
麒麟・任意 華札の巫女

ある日、君の所属するSAMURAI綾代支部に、羅刹、牛魔王と呼ばれる逢魔からの宣戦布告が届く。「来週の丑三つ時、SAMURAI綾代支部を襲撃する」とのこと。

牛魔王は数年前に討伐を計画された逢魔であったものの、その折に討伐に失敗し、逃亡を続けていたという強力な逢魔だ。支部を守るために、君はヤツの対処に乗り出すのであった。

縁 らせつ ぎゆうまおう：“羅刹”牛魔王

感情：殺意

特記事項：特になし

ハンドアウト



士命

ハンドアウト PC 4

片岡和樹の依頼を達成する

推奨魂魄・職業 推奨サンプルキャラクター

霊亀・任意 退魔土官

君の友人であるリーダー、片岡和樹が今度のSAMURAI 綾代支部の防衛作戦に参加することになった。

彼は友人である君に依頼をしてくれ。

「今度の防衛作戦と一緒に参加してくれる魂魄士を探している。君に頼んでもいいだろうか」

君は彼の頼みを引き受け、綾代支部防衛に力を貸すことになった。

縁：片岡和樹

感情：協力

特記事項：特になし

断片

ハンズオン



初期断片

沢村ムサシについて

PC1の元であり、現在は行方不明の綾代市の魂魄士である。

指定特技	< 悲 / 理知 12 >	
難易度	<input checked="" type="checkbox"/> 下級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特級 <input type="checkbox"/> 特殊	<input type="checkbox"/> PC1 <input type="checkbox"/> PC2 <input type="checkbox"/> PC3 <input type="checkbox"/> なし
推奨	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

初期断片 開示

沢村ムサシについて

追加断片↓
なし

沢村ムサシは数年前の牛魔王とと呼ばれる逢魔の討伐計画に参加し、その戦いに巻き込まれた人々を守るために魂魄を散華させた。そしてその討伐計画が終了した後、行方をくらました。

この数年の間、日本各地の山岳を巡る彼が目撃されたというその理由に関しては謎に包まれているが、生きているのは確かであるようだ。では彼は、現在一体どこを何をしているのだろうか……？

断片

ハンズオン



初期断片

サムライマスクについて

サムライマスクは最近綾代市内に出没する謎の魂魄士である。いったい何者なのか……？

指定特技	< 知覚 / 感性 4 >	
難易度	<input type="checkbox"/> 下級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特級 <input type="checkbox"/> 特殊	<input type="checkbox"/> PC1 <input checked="" type="checkbox"/> PC2 <input type="checkbox"/> PC3 <input type="checkbox"/> なし
推奨	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

初期断片 開示

サムライマスクについて

追加断片↓
なし

彼は厳密には魂魄士ではない。度重なる鍛錬によって、並の魂魄士に負けず劣らずの力を得た一般入だ。彼自身は綾代に住む人々を守るために、己の剣を振るっており、少なくともSAMURAIと敵対する意思はないようだ。

また、彼の持っている剣は沢村ムサシが所持していたものと酷似しており、僅かにだが魂魄の力が残っているようだか……？

断片



初期断片

“羅刹”牛魔王について

“羅刹”牛魔王は数年前に討伐に失敗した強力な達魔である。

指定特技	＜ 異形 ＞		／練達 3 ＞	
難易度	下級 <input checked="" type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input checked="" type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

“羅刹”牛魔王について

追加断片 ↓

「牛魔王討伐計画の記録」

“羅刹”牛魔王は討伐計画のときに逃走し、数年間精の中で力を蓄え続けていた。故に彼の力は数年前の討伐計画の際に比べてより増幅しており、そのまま放置しておけば街の1つや2つとも簡単に滅ぼしてしまうであろう。かつての牛魔王討伐計画の際に、彼の弱点を利用した薬などを幾つか準備していたようだ。SAMURAIに保管されているか、資料を見つけたことができれば、彼の弱点を突くことができそうか……？

牛魔王は「特殊能力3」「猛牛無双」 間合 0〜2 対象 ライン サイクル1回。そのラインにいるPCを対象として、「攻撃を行う」を持っている。

断片



追加断片

サムライマスキの正体

この「追加断片」は「初期断片」沢村ムサシについて「サムライマスキ」についてが両方とも開示されると公開される。

サムライマスキとは一体何者なのだろうか……？

指定特技	＜ 継承 ＞		／理知 5 ＞	
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input checked="" type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input checked="" type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

サムライマスキの正体

追加断片 開示

サムライマスキの正体は沢村ムサシである。彼は牛魔王討伐計画の際に魂断絶筆をしたのち、長い旅を経て少しでも誰かを救うことができる力を得るため、自らの大切な「妹」によってカコい兄であるため、何より自分が牛魔王を討出来なかつたことに対する悔いを糧に、修練を続けていたのだ。しかし、既に神土でない彼の肉体には限界がある。そして、それを彼自身も自覚している。故に、彼は此度の牛魔王討伐が終了した後、僅かに力を残す彼の武器「炎獄えんごく」を、自ら同じ正義の魂を持つ人間に継承してらおうとしている。

この断片が開示された後、PC1は沢村ムサシを牛魔王討伐から逃げるための説教をする。ラインを設けることができるようになる。このシーンは手番を消費せずに行うことができる。説教が成功した際、PC1は「炎獄」を継承することができる。

「炎獄」を継承した場合、PC1はセッション中1回「明鏡止水」「連刀流」「ルールブック P128」を使用することができる。

断片



追加断片

牛魔王討伐計画の記録

過去の討伐作戦の記録をSAMURAI本部で探す。何か手かりはあるだろうか……

指定特技	＜ 探求 ＞		／理知 9 ＞	
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input checked="" type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input checked="" type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>

牛魔王討伐計画の記録

追加断片 開示

牛魔王は炎が苦手である。

特に後代の山に存在する強い妖力を秘めた神木「縁辻之樹（あやつじのき）」を燃やすことで燃え上がる。妖力を帯びた炎が特に苦手であるという。そのため、牛魔王を襲撃する際に「アツ」をその炎で攻撃し、体力を削ぐことができれば、彼の妖力を削ぐことができるであろう。さて、何かいい方法はないだろうか……。

ダンペン

断片



追加断片

新・牛魔王討伐計画

過去の牛魔王討伐計画を参考に、新たな作戦を練ろう。

指定特技	← 警備		練達 4		→	
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input checked="" type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>	
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input checked="" type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>	

追加断片 開示

新・牛魔王討伐計画

片岡和樹の呼びかけもあって、SAMURAI本部から必を得意な分野とする妖術師や符術師を多数派遣してもらうことに成功した。また、対魔作戦群の協力を得ることに成功。作戦当日はSAMURAI支部半徑数十キロ在住の人々を遊離させておくことができたという。これで前回の作戦の時のように、一般の人々を巻き込むこともないだろう。

2サイクル以内(割数)が開示された場合、特殊能力3、猛牛無効は使用不可能になる。

ダンペン

断片



剣戟

襲撃の日、来たる

この断片は、追加断片「三つが全て開示される」が開示される。

PC達が準備をしている間に、牛魔王の宣言し白がやってくる。開示判定に成功した場合、クライマックスフェイズへと突入することが出来るようになる。

指定特技	← 神秘		深淵 5		→	
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特級 <input checked="" type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>	
推奨	PC① <input checked="" type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>	

剣戟 開示

襲撃の日、来たる

牛魔王を弱体化させるための作戦も、人員も万全となった。

PC達は前線に牛魔王と直接対決を行うことになった。また、後衛は片岡和樹が支援する魂魄士たちが担う。彼らであれば、支部が破壊されることを守り切る事ができるだろう。だから、彼らに伝えるために、牛魔王を止めなければ。

説得を済ませていない場合、クライマックスフェイズのバトルシーンにムサシ・サムライマスコが参加する。ムサシは毎サイクルのサイクルエンドに、牛魔王に2点のダメージを与える。しかし、2サイクル以内に牛魔王を討伐することができなかった場合、彼は死にます。

説得を済ませていない場合、ムサシは戦闘には参加せず、後衛からPC達のサポートを行う。

ダンペン

断片



挿話

片岡和樹の支援

この断片は「追加断片「牛魔王討伐計画」が開示される」が開示される。

片岡和樹は、作戦のための準備をしているようだ。

指定特技	← 修行		練達 9		→	
難易度	下級 <input type="checkbox"/>	中級 <input checked="" type="checkbox"/>	上級 <input type="checkbox"/>	特級 <input type="checkbox"/>	特殊 <input type="checkbox"/>	
推奨	PC① <input type="checkbox"/>	PC② <input type="checkbox"/>	PC③ <input type="checkbox"/>	PC④ <input checked="" type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>	

挿話 開示

片岡和樹の支援

片岡和樹がSAMURAIから物資を調達して来てくれた。この断片を開示したPCは「軍物」「兵器」「霊測」のいずれか1つを手に入れる。また、PC達はクライマックス戦闘の1ラウンド目にグッドスタート(6%)「幸運」を受けることができる。

この断片が開示された後、シーン7「片岡和樹の支援」が発生する。